

平成22年度貝毒プランクトン出現状況(No.10)

通報番号 (MG) - (22) - (17)

通報月日 平成22年6月17日

機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	水深 (m)	水温 ( )	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備 考 (他 <i>Dinophysis</i> 属の内訳)
					<i>D.fortii</i>	<i>D.acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.	
荻浜内	6/17	0	19.7	29.47	10	10	0	0	
		5	18.4	30.09	0	0	20	0	<i>D.rudgei</i> <i>D.caundata</i>
		10	12.9	32.84	0	10	0	0	
荻浜沖	6/17	0	18.9	29.85	0	0	0	0	
		5	17.5	30.33	20	120	40	0	<i>D.tripos</i> <i>D.rudgei</i>
		10	12.4	32.76	40	100	40	0	<i>D.tripos</i> <i>D.norvegica</i>
		15	11.2	33.38	0	0	0	0	
塚 浜	6/15	0	15.5	33.11	10	0	0	0	
		5	14.7	33.00	20	10	10	0	<i>D.rudgei</i>
		10	11.8	33.52	10	10	0	0	
		15	10.8	33.58	0	10	10	0	<i>D.rudgei</i>
		20	10.2	33.62	0	0	0	0	
		底	10.0	33.65	0	0	0	0	

底はB-1m(26.5m)

担当:環境資源部 菊地・鈴木・武山  
TEL:0225-24-0138,FAX:0225-97-3444

下痢性貝毒プランクトンである*D.fortii*は前回(5月31日調査)と比べて荻浜内湾で減少し、沖合では出現数が増加した。*D.acuminata*は前回(5月31日)と比べて荻浜内湾で減少し、沖合では増加した。  
塚浜では、前回(5月31日調査)と比べて*D.fortii*、*D.acuminata*共に出現数はほとんど変わりませんでした。

麻痺性貝毒プランクトンである*Alexandrium* spp.は出現しなかった。

水温は荻浜湾では内湾、沖合共に底層で前回(5月31日調査)とほとんど変わりませんでした。

現在、宮城県南部海域産ムラサキイガイは、平成22年5月20日付けで出荷自主規制措置を講じています。  
また、宮城県北部海域産ムラサキイガイが平成22年6月17日付けで出荷自主規制を講じています。